

## 旭中 研究だより

9・10月号

延岡市立旭中学校  
研究主任 與田 智恵子

本年度の研究の大きな課題の1つである「読解力」を高めるための取組として、昨年度の入試問題や学力テストの分析を夏休みに行いました。5教科（国語・理科・英語・社会・数学）の試験問題において、どのような問題で読解力が求められているのか、そしてその問題を解くために必要な力を身につけさせるためには、2学期以降、授業や学年でどのようなことを実践していけばいいのか、ということをお話し合いました。

また、9月14日（月）から18日（金）までを「授業参観週間」と設定し、全職員がそれぞれ2回ずつ授業を公開したり、他の先生の授業を2回以上参観したりしました。授業のポイントは研究主題である「学びに向かう力」と「読解力」を高めるための指導の工夫です。他教科や他学年の授業を参観することで新たな発見がありました。その後、9月30日に全員1人1人を対象に公開した授業に関する事後研究を行い、それぞれの改善点について以下のような忌憚のない意見が活発に出されました。

- もっと生徒自身を考え、活動させる。（教師が話しすぎる）
- 学びと日常をつなげるための工夫が必要。
- 「めあて」と「まとめ」の整合性が必要。
- 評価が学ぶ意欲につながっているか。
- 簡潔でわかりやすい「まとめ」
- 時間内にまとめまで終わるべき。←精選された指導内容
- 何が大切なのか、時間配分の改善が必要。 など

「学びに向かう力」と「読解力」を育むための研究は、今後も継続して行います。

